

令和6年度 こども園における自己評価

【沓谷おひさまの森こども園】

A：たいへんよい B：よい C：一部検討を要する D：改善を要する

項目	内容	評価				意見
		A	B	C	D	
園の保育理念・保育方針	園の保育理念、園の保育方針・保育目標を理解し、かつ課題を共有している			○		園全体のミーティングや日々の保育の中で保育理念、保育方針、保育目標を共有する機会を設けたが、浸透するまでに課題が残った。
保育について	一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した保育計画となっている	○				保育理念や保育方針、保育目標を見直したことで日々の姿が育ちにどう繋がっているのか、何が育ってきたかなど、考えるきっかけができ、必要な援助へと繋げることができた。
	年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定している	○				
	評価、資料(諸記録)を集積している	○				
	園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるよう配慮している		○			
	気候や子どもの活動にあわせ、温度・湿度・換気、照度など配慮している	○				
	地域の特色や季節に触れる活動を設定し、保育の中で子どもが季節感を感じるように配慮を行っている		○			
	子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができています		○			
	それぞれの子どもに関する必要な情報を共有している		○			
	保育についての話し合いをよくしている		○			
	それぞれの役割を把握し、チーム保育として適切な動きができています		○			
健康管理について	日々の園児の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育を心がけている	○				地域で流行っている感染症や園で見られる感染症について、嘱託医へ都度相談できたことで感染拡大防止の意識につながったが、共有が遅れたり伝わり切れていない部分があった。
	玩具、遊具等については、常に衛生的に保持している			○		
	乳幼児突然死症候群(SIDS)や感染症等の予防の対策やマニュアルが用意されている	○				
	園や地域の感染症の状況について、保護者に情報提供し、協力を仰ぎ、感染拡大防止に努めている		○			
行事について	行事の種類や実施回数は適切である		○			昨年度から、行事の見直しを図ったことで、日々の保育とのつながりを感じられる内容となった。
	行事のねらいを計画や実施に十分生かしている		○			
	新型コロナウイルス感染症対策を考えた上で、適切な運営を検討している	○				
食育について	食育を通して子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している	○				新たな取り組みの実行よりも、今取り組んでいるものに再度見直しを図り、より、意味意図をもって発信することができた。
	旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	○				
	調理担当者と子どものコミュニケーションが図られるようにしている	○				
運営について	園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある		○			通年通して、会議は都度状況に合わせて行うことが出来た為、次年度は長期的な計画の中で綿密に実行していくよう努めていきたい。
	各種会議を適切かつ効率的に進めている		○			
	打合せ回数、時間、内容は適切である		○			

項目	内容	評価				意見
		A	B	C	D	
保健・安全指導について	年齢別・クラス運営に生かされるような安全チェックマニュアルの整備など対策を講じている	○				今年度は安全チェック表の見直しを繰り返して行い、クラス毎に整備していったことで全体的に安全に運営することの意識が高まった。次年度に向けて、さらなる意識向上に努めていきたい。衛生面では、生活の流れと環境が合わず、一部課題が残った。
	避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している		○			
	事故や災害に適応できるマニュアルをすぐに見ることができるようにしている	○				
	廊下に落ちているものを拾ったり、トイレのスリッパを揃えたり意識している			○		
	室内の衛生、クラス廻りの清掃に心がけ気持ち良い環境に心がけている			○		
研修・研究について	発達に合わせた毎月の課題を明確にし、日常の保育の向上に生かしている	○				クラス会議を細かく持ったことで、発達に合わせた課題が都度明確になっていたこと、クラスの職員間でも共有が取れていたことで援助をそろえることが出来た。次年度は、研修で学んだことをもっと保育に繋げていけるような体制をとることに努めていきたい。
	部内・部外研修への参加態勢を充実を図っている	○				
	研修報告を園内で実施している			○		
情報について	園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している	○				昨年度に引き続き、個人情報保護法に基づき、全体に向けて定期的に全体周知を図った。今後も、重要性についての周知徹底に努めていきたい。
	個人情報への取り扱いについて研修を行い、園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している	○				
	各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理している	○				
設備について	施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている	○				防犯対策の観点から、園庭のフェンスの高さを変えて、より安心安全な環境を整えたことで、その他、様々な防犯への意識も高まった。
	掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している	○				
保護者支援について	子どもの送迎時に子どもの様子を伝えあうようにしている		○			昨年度同様に家庭での様子をうかがいながら個々の対応に努めた。根拠をもってよりわかりやすく伝えることに一部課題が残った。
	クラス懇談や個別懇談を行っている			○		
	入園説明会やクラスごとの懇談会などでは保育内容や目的をわかりやすく説明し、情報提供を行っている		○			
	園だよりや行事などを通し、園での様子を伝える機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている	○				
開かれた保育所づくりについて	園庭や保育室等を、地域の子育て親子等に解放している	○				一時預かりや地域の子育てイベントを通して、地域で子育てするご家庭とのつながりを持つことが出来た。散歩に出ることも多くあった為、地域の方にもきっかけとなる挨拶ができるよう、職員一人ひとりの意識向上に努めていきたい。
	職員による育児に係る「子育て相談」は充実している		○			
	医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している		○			
	中高生の職場体験や実習生の受入を体制について、その意義や方針を全職員が理解している		○			
	来客や地域の方に明るく挨拶をしている		○			
情報発信について	園だより、ホームページ等で、情報発信に努めている			○		昨年度よりも小学校や専門施設との計画的な連携を図り、繋がりを持つことが出来た。
	地域の小学校や専門施設と連携をとり、地域で子どもを育む努力をしている		○			

日頃より、沓谷おひさまの森こども園の運営にご理解・ご協力を賜りましてありがとうございます。

今年度は、保育理念、保育目標、保育方針の見直しを図り、日々の保育に繋がるように努めてまいりました。

次年度は、より根拠をもって日々の保育への浸透ができるよう努めてまいりたいと思います。

令和7年3月1日

園長 笠原陽子